谷川伸彦さんから ひらき座へのメッセージ

※今年7月に自主公演の取材旅行で、岡山県にある、ハンセン病療養所・長島愛生園、邑久光明園に総勢約30名で行ってきました。その際のコーディネートと、事前学習や現地での解説をしていただいた、劇団名古屋の谷川伸彦さんから、ひらき座自主公演に対して、メッセージいただきました。

●谷川伸彦さん（劇団名古屋）

秋!ひらき座さんの秋です!今年はどんな元気を見せてくれるのか。今年、ひらき座さんの「ハンセン病療養所　長島愛生園ツアー」に同行させてもらいました。灼熱の7月半ば。しかし、一行は暑さもなんのその!賑やかに園を周り、ハンセン病の偏見差別について学びました。宿舎ではお酒を片手に、参加者全員で台本についての議論が始まり、それぞれの意見を闘わせていました。翌日は、入所者のお爺ちゃんに「ソーラン節」を披露!みんなのエネルギーから、ひらき座の一体感が生まれるのだ。この長島愛生園二日間が、お芝居の中で、どう生かされ、描かれるのか?

エネルギー満タン、一体感あふれる舞台を期待しています。

頑張れ!ひらき座!